

---

# サイバネティック・プロフィール

アブソル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

サイバネティック・プロファイル

### 【Nコード】

N1465K

### 【作者名】

アブソル

### 【あらすじ】

ここでは「サイバネティック・パートナー」に出てくるキャラの紹介や、僕、アブソルが好きな作品などを皆様に紹介したいと思います。

## キャラ紹介(1)

このコーナーでは登場人物の紹介などを行います。

司会は僕と……。

トウエンティ「私が行います」

では……最初は主人公の紹介から。

【ライト(Light)】

【種族:ポケモン:ピカチュウ 性別 年齢:15歳ほど】

【一人称「俺」】

熱くなりやすい性格のピカチュウ。バトルが好きで、申し込まれると必ず受けるのはもちろん、積極的にバトルを申し込む。

また実力も相当のもので、「十万ボルト」「放電」と「アイアンテール」を組み合わせるなど機転が利く。

いつも赤いバンダナを巻いているが、かなり大事なものらしくバトルをするときは外している。

実は「雷神<sup>インドラ</sup>」と呼ばれる「継承技」を受け継いでいる。

彼の場合、まだまだ未熟者であるため最低電圧である1億ボルトのインドラしか放てないが……どうやらライトの練習しだいでインドラの威力は上がるらしい。

本編では登場していないが、女の子は苦手で近寄られると緊張して声が出しづらくなってしまう。

また恋などには鈍いが、まったく興味は無いわけではない。

バトルは得意だが、頭を使うことは苦手で親友のゼニガメのアクア（後述）に戦略的なことは全て任している。

好きなもの：バトル、友情、正々堂々とした態度、直球一本槍的行動、父からもらった赤いバンダナ、仲間。

嫌いなもの：卑怯な奴、残酷な奴、悪、戦略と計略などの策略を張り巡らせているときのアクア、トウエンティのサイレント・ルイン

次はアクアの紹介です！

【アクア（Aqua）】

【種族、ポケモン：ゼニガメ 性別 年齢15歳ほど】

【一人称、僕】

親友のライトと共に旅に出たゼニガメ。

基本的に戦いは好まず、冷静で同時に臆病な面もある。

好戦的で熱くなりやすい勇猛果敢なライトとは正反対の存在である。

ただし、本編ではまた本格的に登場してないが、バトルの時には相手を罠にかけ、策略と計略でもって勝利するというバトルスタイル。また彼は「影分身」「黒い霧」「身代わり」などの補助技をバトルの中心に据え、自身は安全圏にいつつ、「影分身」「身代わり」などで作り出した攻撃判定のある分身たちで敵を攻撃するのを好むタイプ。

それ故、普段は仲のいいライトやイグニス（後述）もバトルのときになるとアクアのことを少し気に食わない奴と誤ってしまふ。

ただし、アクア自身は自分のバトルのことを「無駄を極力省いた知的なバトル」と思っている節があり、ポケモンバトルはいかに相手を罠にかけ、勝利するかという戦いだと信じている。

好きなもの：作戦、策略、計略、策略、相手を自分が考えた作戦で倒すこと、仲間、チエス、友情、少々の悪意。

嫌いなもの：本当の悪、一線を越えた策略、何でも直球一本槍で通そうとするときのライト、負けること

トウエンティ「次は私自身の紹介ですね」

【トウエンティ (twenty)】

【種族、人工知能 性別 年齢不明】

【一人称、私】

とある研究所で偶然ライト達によって凍結から開放されたサイバー

上の自己進化プログラム。

正式名称は、ゼーレ達の会話から「ダアト（Daath、知識の意）」と判明。

公式では自己進化プログラム「ダアト」開発コードI-20、通称トウエンティ。

どうやら自身の名を名乗るとき開発コードを名乗っていたため（I-20は名ではなく、開発コード）、記憶領域がロックされていることが伺える。

そのためトウエンティが開発された経緯などを含めた過去はまったくの謎。

現在はライト達と旅をしするためジラーチ型端末に自身のプログラムをインストールしている。

データ収集に熱心で、自ら進んでバトルに参加することもしばしば。また端末には強力な武装が施しており、並みのポケモンでは太刀打ちできない。

凶悪なチート技「静かなる破滅」サイレント・ルインを使用し、相手を化学的に分解し、内臓器官、特にポケモンが技を使うためのエネルギー器官を瞬時に分解・破壊できる。

また感情を持ち合わせていないがゆえに、ライトの気ままな言動を理解できないこともある。

いつも無機質な合成音で話し、的確な質問、応答をする。

またいつでもインターネットから膨大な数のデータを仕入れてくる  
ことが可能で、既にトウエンティのデータ領域の仲には人間やポケ  
モンが一生かかってでも読みきれないほどの量の情報が詰まっている  
らしい（本人談）

好きなもの：ライト（興味を引かれる存在らしい）、データ収集、  
ポケモン達との接触

嫌いなもの：特になし

トウエンティ「その気になれば、町ひとつを破壊できますよ。サイ  
レント・ルインで」

………もしかしてポケモンを……殺っちゃうことも？

トウエンティ「当然です。もしかして、これからはポケモンをサイ  
レント・ルインを用いて殺傷するほうがいいですか？」

止めなさい（汗）

では次はイグニスを紹介します。

【イグニス（ignis）】

【種族、ポケモン：ヒトカゲ。性別 年齢14歳】

【一人称、オレ】

ピュアリーグ公認のフレアジムで見習い兼修行をしていたヒトカゲ。師匠であるバクフーンのヒートを敬い、彼のように強くなりたいと思っている。

ライトと同じくバトルが好きで、ジムリーダー、ヒートへのチャレンジャーがチャレンジ権を得るに相応しいかどうかを見極めるために一回戦の相手としてライト達と対峙した。

ライトがヒートに打ち勝つてからは、彼らと旅をすることを決意し今に至る。

性格は実直であり、ライトとは馬があう。

ただしトウエンティのことは苦手らしく、二人つきりになったときとても困る。

師匠直伝の技「インフェルノ」が使える、バトルの実力はかなり高い。

しかし現在判明している「インフェルノ」使いの中では威力が最も低いのが悩みの種。

ライトとの戦いでは「インフェルノ」を用い、当初はライトを圧倒したが最後はライトの「インドラ」に敗れる。

本編未登場だが、女の子に惚れっぽい

好きなもの：バトル、女の子、友情、仲間、師匠のヒート

嫌いなもの：曲がったこと、暴力的な奴、悪いこと、ずるいこと、

ピーマン(笑)

こんな感じでしょうか……

今回はここまでです。

## キャラ紹介(1) (後書き)

次はヒートたちを紹介しようと思います。

## トウエンティの他作品紹介(1)

トウエンティ「今回は私が今非常に興味を持っている作品を紹介しようと思います」

あれ・・・ヒート達のキャラ紹介は？

トウエンティ「それはもう少し作品が進行してからです」

あ、そう・・・。

で、どんな作品を紹介するつもりなの

トウエンティ「古参の先生方の作品は紹介しません。もう十分評価されていますから。しかし、新鋭の先生方で、私が興味深いと思った作品を一つ紹介いたします」

それでその作品は・・・。

トウエンティ「【ポケモンレジェンド・ハルキ】。霞正斗先生の作品です。私は非常にあれを気に入っているのです。特徴としては・・・

### 科学と力の均衡問題

人間とポケモンの微妙な関係に揺れる二人の主人公

モンスターボールという名の支配制度の功罪

なるほど……

トウエンティ「人間の対ポケモン支配の象徴をモンスターボールに持ってきた、というのは素晴らしいと私は思うのです。また、人間側とポケモン側の二つの意見を描くことで、中立的な立場をとっている作品だと思います。主人公、ハルキー行はモンスターボールからのポケモンの開放を目指す立場を取っていますが、では本当の自由とは何か？

ポケモンと人間はどうしたら共存していけるのか？これは現代社会にも通ずる問題です。そこを霞正斗先生は上手く描き出していると思います」

文章も流れるようだしね……。

トウエンティ「モンスターボールを巡る物語の奥には、一つの問題に対する二面性が伺えます。二面性を持つ問題に対してどう折り合いをつけのか……非常に奥が深く、同時にコミカルな作品でもあります。出てくるキャラも個性的です」

僕も勉強しなきゃね（汗）

トウエンティ「これまでの展開では正義派一色でしたが（いろんな意味で）、これからは怪しげな組織との戦闘に突入するようですし、目が離せませんね」

これからが楽しみな作品だしねえ

トウエンティ「これからモンスターボール制度がどうなっていくのか。そのまま存続するか、それとも廃止されるか。廃止したとして別の制度があるのか？

・・・現代社会と連動する問題を提示しながら、面白おかしく進行していく物語。すばらしい作品です。皆様もぜひお読みになってください」

では

## トウエンティの他作品紹介(1) (後書き)

偉そうに紹介してしまつてすみません(汗)

でも、今回この作品を紹介したのは、あれが本当に面白いし核心を突いた物語だからです。

前々からやろうと思つていましてついにやつてしまいました(笑)

また他のお気に入り作品を紹介していく予定です。

このコーナーがお役に立てれば幸いです。

では

## 技コンテスト開始！

気がついたら「サイバネティック・パートナー」も30話。

そろそろキャラ人気投票でも・・・と考えてしまう自分が怖い（汗）

【ガーデン・オブ・エデン】の主要メンバーもちろはらと出てきたし、ライト達の仲間も充実してきたし。

しかしキャラ人気投票は今度にします。

もうちつと話が進んでからです（笑）

で・・・今回は別です。

すこしイベントをします！

名づけて

「第一回、技コンテスト大会イイ！」

えつとつまりですね・・・読者の皆様に技に関する案を出してもらい、僕が気に入ったものを「サイバネティック・パートナー」で使わせていただきます。

そして技案に対する対象キャラは

ライト

アクア

イグニス

ソウル

です。

トウエンティは機械ですから技の応用が利きませんので、除外させていただきます。

技の案はお一人様何案でも出してもらって結構です。

案がいつ使用されるかは内緒です（笑）

案はできるだけ技の特徴を押さえて頂くとあり難いです。

期限は約二週間です。

たくさんのお応募をまっていますよ！

案はメッセージでお願いします

では

**キャラ人気投票開票！**

キャラ人気投票開票！

ライト「気になるな・・・」

イグニス「結果が出るのか」

ではまず第五位から。

4人いますよ

先ずは・・・。

ゼーレ

ゼーレ「僕？」

ライト「何でこんな奴に票が入ってんだ！！？」

まあまあ落ち着いてライト（汗）

ゼーレ「僕に入れてくれて感謝するよ。票を入れてくれてありがとう。これからも【ガーデン・オブ・エデン】をよろしく」

さてさて次は・・・。

ビナー

ビナー「わぁ〜い！」

理由は「色々楽しそう」だからだそう。

イグニス「冗談じゃねえぜ・・・こいつの技が一体どれだけ恐ろしくグロイのか覚えてんの（汗）！」

で、ビナー。君に票を入れてくれた人からの質問が来てるよ？

ビナー「なあに？」

「最後まで満足の行く行動を行えたかどうか」

ビナー「難しい質問だね〜。でもビナーは生み出されてからも消えてしまっただけから後悔はしてないよ〜。ビナーはいつでも自身のプログラムに従って行動していたし、「楽しんで」もいたから、その意味では最後まで満足だったよ・・・でも一度はゼーレが作った理想の世界を見てみたかった。これは少し「満足」じゃないね」

さて、次は意外なこの方だ！

トレノ

トレノ「俺か！？」

ライト「親父かよ・・・」

なんでもシリにしかれる姿と威厳の無さが受けたみたいWWW。

トレノ「く・・・だがこれから俺は活躍するタイプだからな！」

ま、それはトレノの言うとおり。彼はこれからの物語に無くてはならないキャラです。いろんな意味でwww

さて、五位の最後を飾るのは・・・こいつだ！

イエソド

イエソド「ボクなのです？」

うん。残虐なセフィラ達の中で唯一ゼーレを裏切って自分の道歩もうとしてるかららしいよ。

イエソド「ボクに入れてくれた人、どうもありがとうございます。これから頑張っていくです」

イエソドについてはおそらく【サイバネティック・パートナー】での活躍はもうありません。

その代わり究極神団・零さんの【とある探検隊】で彼は大活躍する・かも。

さて、次は第四位です。二名が投票されました。

ということですが先ずはこのキャラ！

イグニス

イグニス「やったぜ！ありがとな！」

どうやら料理で一番足手まといだったりライトから（操られていたとはいえ）殺されかけたのに、何時も元気な迷いのない姿勢が高評価でしたwww

イグニス「オレは止まってなんかいられないんだ・・・師匠に追いつくためにも！」

彼の料理ベタはまたネタとして使う予定ですwww。

さて第四位の最後のキャラは・・・。

ソウル

ソウル「ボクか」

復讐のためにライト達を利用しようとした彼が、少しづつ心を開いていく・・・それに心打たれたらしいです。

ソウル「ボクは復讐や怨念を忘れたわけじゃない。でも・・・未来にも進まなきゃいけない。そのことをライト達が教えてくれたからね」

さて第三位は・・・こいつです！

ケテル

ケテル「俺か」

悪役なのに気取ってなく、「残酷」でもない点が高評価でした。

確かにセフィラメンバーの中ではイエソドと同じくかなりまとまな奴かと。

ケテル「俺に入れてくれた奴に感謝する。……結構嬉しいものだな、こういうのは」

彼はこれからも活躍します。「アイスジム」攻略後も主要敵キャラとして出てきますので。

さて……栄えある第二位の発表です！

トウエンティ

トウエンティ「私ですか？」

機械的で分かりやすい、感情を理解しようと努力している、機械と生物の間で揺れ動いているのがとても高評価を受けました。

トウエンティ「私は自己進化プログラムですから。「生物」と同じく進化し、同時に論理機械であるという存在なのです」

次々に出てくる能力も魅力的だそうで。

トウエンティ「私自身には物理的な体も能力もありません。ただ私は一定以上のコンピュータを内蔵している機械ならば、それを操る

「ことが出来るのです」

トウエンティの能力は次々と体を機械ならばその体を使い換えることが出来る点です。

つまり人間の機械文明が存在する限り、トウエンティは滅びません。

その点で他のセフィラと異質ですね。

さて、【サイバネティック・パートナー】キャラ人気投票第一はこいつだ！

ライト

ライト「おっしゃ！」

一本槍で周囲に配慮している点やバトル好き点が受けましたwww

ライト「俺に入れてくれて感謝するぜ！ありがとな！」

インドラも高評価でした。

特に熱血だけど優しく配慮も出来るところがかなりよかったみたいです。

ライト「なんか照れるぜ……」

彼はこれからも強くなります。応援してあげてください。

さて、今回色々な方から投票していただきました。

この場を持って感謝を表明します。本当にありがとうございます。

これからも【サイバネティック・パートナー】をよろしく願います！

では

キャラ人気投票開票！（後書き）

アクア「ねえ・・・僕は」

あ、今回入ってなかったよWWW

まあ次回に期待してね

ライト「そうだぜ！気を落とすなよ」

アクア「それ嫌味？」 いじけております。

ライト「まあ票が入ってなかったからってそうガツカリすんなよWWW」

アクア「ライトに何が分かるんだ！第一話からずっと出てるレギユラーなのに・・・！こうなったらサイレント・ルイン！」

ライト「えっ！？ちょま・・・ぎゃあああああああ・・・」

かくしてアクアの逆恨みの攻撃でライトは倒されましたWWW

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1465k/>

---

サイバネティック・プロフィール

2010年10月11日00時00分発行